

世界が認める安心安全を支える水処理システム

協和機電工業株式会社



代表取締役社長
坂井 秀之

長崎県

長崎市川口町10番2号

1951年(昭和26年)設立
095-848-7788

<http://www.kyowa-kk.co.jp/>

水処理システム、電気制御システムの技術を融合した、エネルギー効率とスペース効率に優れた技術で我が国最大の生産水量5万トン/日(25万人供給量)の海水淡水化施設を施工。

原水水質や取水状況の変化に対応し、安全でおいしい水を造り出す膜処理技術

同社は、昭和23年創立以来、水道、生活・産業排水、水質浄化、海水淡水化の水処理分野に携わっている。これらで培った技術の集大成として、海水淡水化施設「まみずピア」(福岡地区水道企業団)では、前処理を軽減させる取水方式と淡水化率60%程度を実現する膜処理技術で、コンパクト化、ランニングコストの低減を可能とし、水質調整用低圧逆浸透膜との併用で従来より安全で美味しい水を製造可能とした。



日本最大の海水淡水化施設「まみずピア」
(福岡地区水道企業団)

地域に根ざした中小企業の視点で環境の快適化、維持保全に貢献する

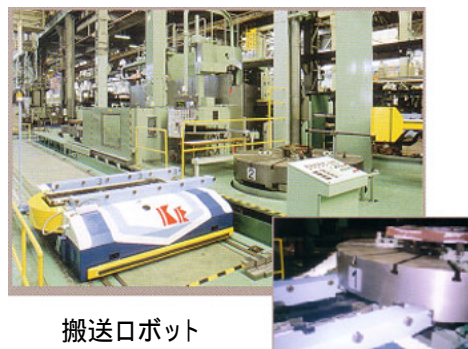
クリプトスポリジウム(感染すると水溶性下痢・腹痛等を惹起する)に代表される原虫類や細菌類を完全除去する設備の完全自動化を実現し、維持管理が容易、装置のユニット化、コンパクトで省スペース化により工事期間を大幅に短縮できる等から、小規模能力(10~200トン/日)海水淡水化装置を開発。離島・船舶搭載等に商品化し、緊急用(トラック運搬可)に貸出しも行っている。



中国深圳市排水リサイクル膜装置

産業メカトロ機械、及び海外(中国)への展開

同社は、水処理システム、電気制御、メンテナンス技術等を活かした環境分野に加え、搬送ロボット、金属表面欠陥インライン検査装置等を開発・製品化し、産業メカトロ機械分野への展開を図っている。現在では、中国深圳市を中心に上水・中水・下水・排水リサイクル施設の施工で海外事業にも展開中である。



搬送ロボット